

I have been invited for an interview...

What does it mean?

1. 出願した学校からインタビュー招待の通知がきました。これってどういう意味でしょうか？

入学審査におけるインタビューの利用の仕方については、各学校により異なりますので、学校のホームページなどでインタビューに関する情報を確認することは大前提ですが、一般的には以下のようにさまざまな理由が考えられます。

- 最終審査に残る何名かの出願者の中の一人として残った。
- 書類上はとても魅力的な出願者であり、入学審査官としては、以下のような理由で直接会ってみたいと考えている。
 - コミュニケーション能力を確認するため
自分の考えを簡潔、かつ的確に伝えることができるか？英語でのコミュニケーションに支障はないか？周りの人があなたのことを理解できるか？プログラムに入学して、クラス討論の参加や、授業前の準備、プレゼンテーションなどを問題なくやっていけるか？
 - あなたの資質を知り、他のクラスメートやプログラムとの調和を確かめるため
学校やプログラムに貢献できるかどうか？クラスやチーム内において積極的に発言することに抵抗を感じるか？他のクラスメートからみてあなたがクラスやコミュニティにいることがよいことかどうか？プログラムの教授陣があなたを指導することがよいことかどうか？あなたが入学して環境になじめそうか？
 - 出願書類の中に不明な箇所・確認したい点がある
出願書類の中で述べられた特定のプロジェクトや経験についての詳細を聞きたい。あなた自身のことをもっと知るために話がしたい。
 - あなたがそのプログラムにどれくらい興味を持っているのかを確認するため
入学審査官は、あなたが複数のプログラムに出願し、複数の学校からの合格通知を受け取るであろうと仮定します。そこで、どのくらい真剣にそのプログラムのことを考えているのかを知ろうとします。もし、入学審査官があなたを合格させても入学してくれそうにないなと感じた場合、最終結果に影響が出る場合があります。
 - あなたにプログラムの良さを印象づけるため
入学審査官は、あなたが、複数のプログラムから求められるレベルの高い出願者で、自分のプログラムにぜひ入学してほしいと考えている場合、インタビュー中にプログラムの良さを伝えあなたにとってそのプログラムが一番であるということを説得し、入学の意思を固めさせたいと思っています。

2. インタビューで得られた情報はどのように審査されるのでしょうか？インタビューだけで合格・不合格が決まるものですか？

インタビューの内容が極度にすばらしい、又は貧弱であったというような例でない限り、インタビューの要素だけで合格・不合格が決定することはあまり考えられません。入学審査官たちは、あなたという出願者を審査するための材料のひとつとしてインタビューを利用します。インタビューは、以下のような情報を得るためにも利用されます。

- あなたの強み(又は弱み)の確認。あなたという出願者に会うことにより、さらにあなたのことを知ることができます。たとえば、TOEFL のスコア上においては規定をクリアしている出願者が、実際もコミュニケーション能力に問題なく、またプログラムに十分貢献できる人材だということがあらためて確認できるような場合があります。インタビューは、こういった書類からの印象を裏づけする(又はその反対)役割を持っています。

- 出願書類上からは知ることのできない情報を収集する。もしかしたら、とても直接会って見ないと分からないユーモアセンスがあったり、独特の雰囲気を持っていたりということがインタビューの中でわかる場合があります。また反対に、話の内容や仕方でネガティブな印象を与えることがあるかもしれません。こういった、書類上では得ることのできない情報も貴重な審査の一部として最終結果につながります。
- 他の出願者との違いを知るため。どの出願者も書類上においてはそれなりに「合格させてもよい人材」ですが、直接会って話しをすることによって他の出願者との違いが生まれます。

3. インタビューにおいてよくある誤解とは？

- **完璧な英語を話さなくてはならない。**
トップスクールにおいては特に、流暢に英語を話せばそれに越したことはないのですが、それよりも重要なのはあなたのコミュニケーション能力に対する自信を伝えることです。自信を持って戸惑うことなく話をすることは、完璧な文法と単語を使って話をするよりもより強力な印象を与えます。学校側は、自分の考えに自信をもって明確に相手に伝えられる人材を探しています。それには、必ずしも英語が完璧である必要はありません。大切なのは、どれだけ流暢に英語を話すのかではなく、相手に伝える姿勢とそのメッセージの中身なのです。
- **自分のことを積極的に売り込むことで、他の出願者と自分との違いを明確にしなくてはならない。**
あなた自身を一番売り込む方法は、自然体でいることです。本当は違うのに、わざと強烈な印象をつけるように誇張するということは得策ではありません。あなたは、訪問販売のセールスマンではありません。あなた自身に正直に誠意を持って話をしましょう。入学審査官は、あなたの情熱や実直さを見ています。
- **インタビューで大失敗してしまった。絶対不合格だ。**
終わってしまったインタビューのことをあれこれ考えるのはエネルギーと時間の浪費です。あなたが、インタビューアーの心を知ることはできませんし、インタビューの結果を推測することも不可能です。インタビューアーによっては、わざと答えにくい質問をして、あなたがどのように対応するかを見たりします。また、インタビューアーがあなたに誤解をさせないように、わざと表情を表に出さないようにしている場合もあります。また、多くの場合出願者は自分のパフォーマンスに批判的です。自分では、大失敗だったと思ったインタビューの後で合格している人も多数いますので、心配しても仕方がないと考え方を切り替えて結果を待ちましょう。
- **インタビューアールととても話が盛り上がり、印象もよかったので合格すると思う。**
これもまた難しい判断です。お互い、短い時間の中で人間として意気投合する場合があります。こういった場合インタビューの進行は、お互い新しい友達同士のように進みます。それは、よいことではありますが、必ずしも合格につながるわけではありません。そこで得られた情報は入学審査の情報のひとつとして持ち帰られ、他者とのバランスの中でさらに審査されるのです。

4. どんな準備をすればいいの？

テスト受験や出願書類の作成と違って、インタビューは相手との生でのやりとりで、一度しかチャンスはなく、やり直すことはできません。提出した出願書類に再度目を通して、相手にどういったことが伝わっているのか、自分の強みを再度確認し、よく聞かれる質問などを想定した模擬インタビューなどで練習しておくことが大切です。練習といっても、聞かれた質問に対する回答を暗記するのではなく、どういったことを聞かれても自分のポイントを簡潔にわかりやすくつたえられるように、自分の考えをまとめておくことが重要です。

- **「他ではどういったプログラムに出願していますか？」というような質問にはどのように答えればよいでしょうか？**
学校側としては、あなたが他にどういったプログラムに出願しているのかを知ることによって、あなたが目指しているプログラムの内容やどれくらい自分たちのプログラムに興味があるのかを知るひとつの材料とします。入学審査官も

あなたが1校しか出願していない、とは思っていませんから、うそをついて「このプログラムだけです。」という必要はありません。また、逆に出願しているすべてのプログラムを言う必要もありません。大切なのは、並べる学校に一貫性があるかどうかです。例えば、インタビューを受けているプログラムに対して、そのプログラムが「少人数の規模である」ということが出願理由の一つであったにもかかわらず、その他の出願しているプログラムにクラスサイズの大きなプログラムを並べてしまえば一貫性がありません。このように、名前をあげるプログラムの出願理由とその一貫性を考えて回答することが大切です。

● **インタビューの最後に、「質問はありますか？」と聞かれました。何か聞くべきでしょうか？**

もちろん、何かプログラムについて疑問に思っていることがあればこの機会に質問すべきです。何気ないこの質問が、実は他人との違いを生み出す大きなチャンスでもあることを認識してください。それまでは、学校側が知りたいことに対して聞かれたことを回答する時間でした。これからの時間は、自分の聞きたいことを聞いて、自分の伝えたいトピックに話を持っていくことができる絶好のチャンスなのです。例えば、自分が入学したら立ち上げたいと思っているコミュニティー活動があるとします。それまでに聞かれた質問内容では、そういった話に触れる機会がなかった場合、この「質問はありますか？」という質問内容をそのトピックに触れることで自分の伝えたいことを伝える時間にすることができるわけです。

終わりに

学校側からのインタビューの招待は学校側があなたに対して興味を持っているサインであることは事実です。合格するグループに一步近づいたことでもあり、インタビューは最後にもうひとつクリアしなければならないハードルです。十分に時間をかけて準備をしてください。

それでは、皆様の結果が良いものとなりますようお祈りしております。

■ インタビュー対策のご案内 ■

アゴス・ジャパンでは、MBA プログラムに出願した方を対象としたインタビュー対策を実施しています。自信を持って本番に臨むために、ぜひご利用下さい。有料サービスとなります。詳細はお問い合わせください。

カリキュラム例:

セッション内容と回数	効果的なカリキュラム例 概要
(自宅学習)	MBA インタビュークラスマニュアル インタビューの質問に対する答え方/インタビュー前の準備/欧米流インタビューのマナー
1セッション目 (インタビュー戦略)	現状インタビュー能力、出願校の把握、出願校のインタビュー実施方法の確認の後、 個々の状況にあわせた今後の4セッションの効果的な進め方のプランニング(戦略指導) ※インタビュー戦略セッションでは、現状把握と戦略指導のために、事前にレジュメ、出願校のエッセイ1校分をご用意ください。
2セッション目 (インタビュー演習)	1セッション目で指摘したポイントの整理(主に話す内容の指導)
3セッション目 (インタビュー演習)	1・2セッション目以外のインタビュー対策(ボディーランゲージ・プレゼンスキル等指導)
4セッション目 (インタビュー演習)	3セッション目までの総合評価と復習
5セッション目 (インタビュー演習)	レジュメとの整合性確認・最終調整

BusinessWeek2011発表の統計

【注】 発表されている数字を元に計算したデータです。一部数字の整合性に欠ける結果となっている箇所がありますが、あくまでも発表されている数字を元に参考のために計算しておりますのであらかじめご了承ください。

US Programs

2012.11.28

School	出願者数	全体の合格率(%)	出願者の中でインタビューを受けた割合(%)	合格者の中のインタビューを受けた割合(%)	インタビューを受けた中の合格率(%)【注】	インタビューを受けなかった中の合格率(%)【注】
Carnegie Mellon University	1,544	24%	64%	100%	38%	0%
Columbia University	6,669	16%	26%	100%	62%	0%
Dartmouth College	2,744	18%	N/A	100%	N/A	N/A
Duke University	3,452	26%	55%	100%	47%	0%
Harvard University	9,134	12%	N/A	100%	N/A	N/A
Massachusetts Institute of Technology	4,490	13%	21%	100%	62%	0%
New York University	4,416	14%	22%	100%	64%	0%
Northwestern University	4,974	20%	87%	100%	23%	0%
Stanford University	6,618	7%	N/A	100%	N/A	N/A
University of California, Berkeley	3,444	12%	31%	100%	39%	0%
University of Chicago	4,169	22%	N/A	100%	N/A	N/A
University of Michigan, Ann Arbor	2,929	32%	50%	100%	64%	0%
University of Pennsylvania	6,442	19%	N/A	100%	N/A	N/A
Yale University	2,823	19%	28%	100%	68%	0%

Non-US Program

School	出願者数	全体の合格率(%)	出願者の中でインタビューを受けた割合(%)	合格者の中のインタビューを受けた割合(%)	インタビューを受けた中の合格率(%)【注】	インタビューを受けなかった中の合格率(%)【注】
HEC	1,399	15%	20%	100%	75%	0%
Cambridge	1,001	25%	30%	100%	83%	0%
IESE	1,804	23%	67%	100%	34%	0%
IE	2,600	32%	98%	100%	33%	0%